

がん予防へ 知識深める

東信経済倶楽部講演会

東濃信用金庫の取引先でつくる東信経済倶楽部は27日、総会と講演会を多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開いた。

会員ら約130人が出席。総会では、年6回の講演会、産業視察の開催を内容とする本年度事業計画を決めたほか、会長に市原好二同金庫理事長を再任、副会長に坂崎義雄前畑社長を

「オトナのがん教育」と題して講演する中川恵一准教授。多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール



新任、加藤秀昭同金庫専務理事を再任した。

講演会では、東京大医学部准教授の中川恵一さんが「オトナのがん教育」と題

して講演。がんは3分の2が治り、2年までの早期発見なら95%が完治するが、症状を出しにくい病気と説明。がんの知識を持つこと

や、がんにならない生活習慣と早期発見の大切さを説き、「年に1回は検査を受けてほしい」と語った。

(野中準二)